

肥料のあれこれ その1

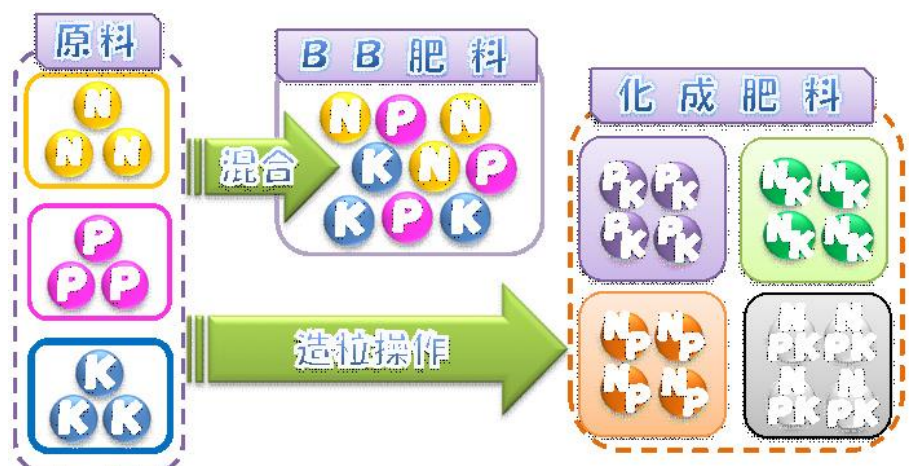
現在あさつゆでは様々な種類の肥料を扱っています。そこで今月号は肥料の基礎的知識や使い方について説明します。

化成肥料 肥料原料を単に配合、混合しただけでなく、化学的操作を加えたもので、肥料3要素（N,P,K）のうち2成分以上を含む肥料のことを言います。様々な成分が含まれており、かつ安定して用いることができます。

BB肥料 粒状の原料肥料を物理的に配合した肥料のことで、バルクブレンディング肥料またはその略称を用いてBB肥料と呼んでいます。BB肥料は、粒径1～3mmの粒状のリン安と塩化カリ（K）を骨格原料とし、これに同じく粒状の硫酸、塩安、尿素、リン硝安などのチツソ原料（N）や重過石、重焼リンなどのリン酸肥料（P）を配合した肥料です。肥効については化成肥料と差がない一方で、化学的操作を行っていないため、その分化成肥料と比べると安価です。ただし、粒の種類によって比重が異なるため、散布ムラがやや起きやすいといったデメリットもあります。

単肥 窒素肥料として硫酸、尿素等があります。特定の養分だけが不足しているときに用います。

硫酸はアンモニア性窒素を21%含んでおり、白色またはやや着色した結晶で色による肥効の差はありません。水によく溶け、土壤に吸着されやすく作物にもよく吸収されます。作物がアンモニアを吸収した後副成分の硫酸が残り、土壤を酸性にします。硫酸根を含むため、鉄分の乏しい老朽化水田や湿田では、硫化水素を生じて根腐れによる秋落ちを引き起こすので不向きです。硫酸根は畑では土壤酸性化の原因となり、また石灰と結びついて溶けにくい石こうを形成します。



尿素は窒素全量46%を含んでおり、白色の結晶で水にきわめてよく溶け、吸湿性が高いです。施してもすぐには作物には効かず、施用後2日ほどで炭酸アンモニアに変わり、土に吸着されやすくなります。尿素がアンモニアに変わると土は中性～アルカリ性になります。この炭酸アンモニアは硝酸に変わりやすく、土壤を一時酸性にしますが、硝酸が作物に吸収されると、土壤の酸性はなおります。

無硫酸根肥料なので鉄分の少ない老朽化水田や湿田などの水田に適します。畑に施す場合、尿素が分解してできた炭酸アンモニアは硝化作用が早いので、ハウス栽培では濃度障害やガス障害を起こすことがあります。また葉面散布にも適しており、根が傷んだとき葉面散布して生育の維持管理を図ります。但し野菜の追肥に施用するといがくなりますので、注意します。

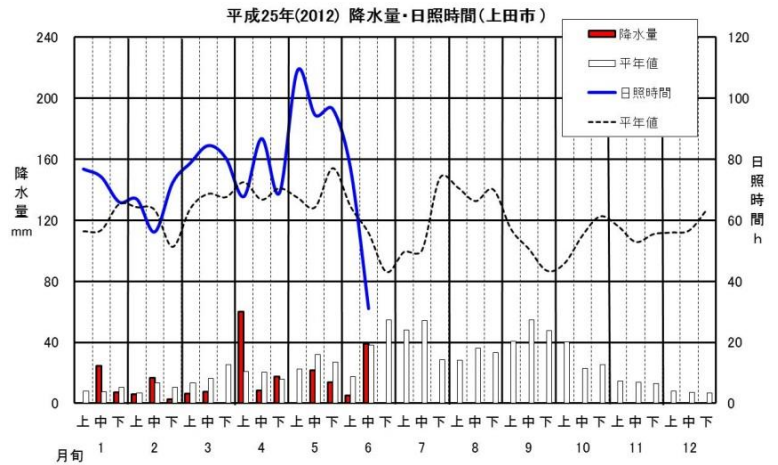
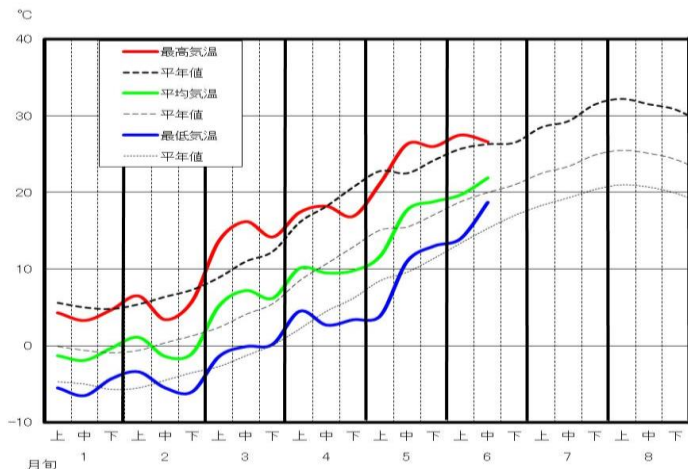
次によく野菜栽培に施用されるN552について説明します。

例えば552と表示されている肥料は、窒素・リン酸・加里の成分を差し、窒素が15%リン酸が15%加里12%の成分を含んでいることを差します。

窒素の成分中でも硫酸が3%・燐安5%などふくまれて合計で15%含まれています。1袋通常は20kgですので、1袋中窒素で3kg・リン酸で3kg・加里で2.4kg含まれています。

肥料成分表示でも、例えば5-5-5の場合は必ずしも3要素が15%含まれているとは限らず、ただの5%の場合もありますので、必ず肥料の裏面の成分表示を確認してください。

○今年度の気象経過



上の図はこれまでの気象経過をグラフにしたものです(6月中旬まで)。左の気温のグラフを見ると、例年と比べて暖かくなったり寒くなったりを繰り返していることが分かります。また、右のグラフでは、日照時間が平年よりもかなり多くなっていることが見て取れると思います。**気象庁の1か月予報では、気温が平年並みかそれ以上になり、降水量及び日照時間は平年並みになる模様です。**ただし、今年の天候は非常に予測しにくくなっていますので、あまりにも雨が降らないときにはかん水を行うなどして対処するようにしましょう。

○水稲のこれからの管理

☆倒伏軽減対策

倒伏を軽減するためには珪酸質肥料の施用が有効です。これは、**稲の表面を硬くし、耐倒伏性を強め、いもち病に対する抵抗性を高める効果**が期待できます。けい酸加里10であれば**10a当たり20~40kg**を出穂35日~45日前(7月10日前まで)(中干し前)に施用してください。

☆穂肥

穂肥を行うと、基本的には収量と品質を上げる効果があります。しかし、**誤った時期に施肥してしまうと、倒伏しやすくなったり、品質が低下したりと逆効果になってしまいます。**下の表を参考に、しっかりと時期を見極めて行うようにしてください。

コシヒカリ	×倒伏の危険があるため		着粒数増←…適期…→籾の肥大		×食味・品質の低下 施肥禁止!!	8/15~
あきたこまち	施用しない!		着粒数増←…適期…→籾の肥大			8/8~
モチ	(下位節間伸長)		着粒数増←…適期…→籾の肥大			8/4~
幼穂長	2~3mm	5mm	10~20mm	20mm以上	↑平年	
出穂前日数	25日	20日	18日	15日	10日	出穂

なお、出穂期の変動により施肥適期も動きますのでご注意ください。

伊藤組合長のオススメ資材コーナー

プレバゾンフロアブル5

先週ご紹介したプレバゾンフロアブル5ですが、新しく追加された登録内容は以下の通りです。

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	散布液量	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
とうもろこし <small>NEW</small>	アワノメイガ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~300L/10a	3回以内

このほかにも、ねぎやトマト、キュウリのハモグリバエや、育苗期におけるカリフラワーのアオムシにも使えるようになりました。詳しい登録内容を知りたい場合はあさつゆまたは普及センターまでご連絡ください。

今月の画像

- ★洋梨の袋がけ
- ★小松菜の収穫
- ★管理機による畑畝立て
- ★畑への灌水(定植前と3時間後)
- ★泥と雨にぬれた小松菜の調整法(袋詰)

電子版はあさつゆレジにて

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062
E-mail：asatsuyu.55@ued.janis.or.jp

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター(近藤・岡崎)
電話番号：0268-25-7156(直通)